

財務・非財務データを統合し、 ESG経営を実現する

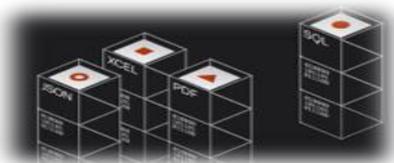
ESG経営の実現に向け、データ収集～経営の意思決定、さらには業務改革まで一貫通貫で対応いたします。地球温暖化や人権問題などの企業を取り巻く社会課題は企業価値を左右する重大なリスクであり、これらの外部要因を考慮したサステナビリティへの取り組みは企業価値の根幹に位置づけられます。

Decision Making for Sustainabilityは、社内外のあらゆるデータを統合・分析し、迅速な意思決定を支援することで、ESGを『リスク』から『チャンス』に変え、企業価値の最大化を実現します。



ESG経営推進における課題

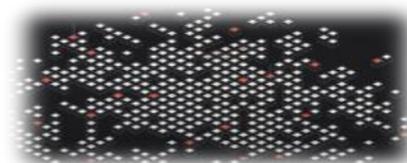
- 1 データのサイロ化
- 2 スピードとアジリティ不足
- 3 ESG取組への知見不足



- 部門別・拠点別にデータがサイロ化・遍在化・個別最適化している。
- データが利活用できる状態になるまでに、データの統合・整備・維持に膨大なコスト・時間・IT部門の負担がかかる。



- データに基づいた迅速な検証や意思決定ができず、ビジネスチャンスを逃してしまう。
- 市況の変化や現場部門の様々な要望追加・変更に対して、高精度かつスピード感を持って対応していくIT環境・IT人材が不足している。



- ESGへの投資が、企業価値向上にどのように貢献するのか、具体的なイメージが持てない。
- ESGへの課題認識はあるが、どのように取り組むことがベストなのかわからないまま進んでいる。

Why FUJITSU

データのサイロ化

データ統合と可視化

- 分散した複数のリソースや異なる構造のデータをプラットフォーム上に一括集約し、直感的なダッシュボードでリアルタイムに非財務情報と財務情報の現状を把握できます。

スピードとアジリティ不足

素早く柔軟なデータ管理

- お客様のESG経営課題に合わせたアプリケーションを統合基盤上に構築することで、素早い提供が可能です。
- 部署名変更などの組織変更やデータの持ち方の変更にも柔軟に対応できます。

ESG取組への知見不足

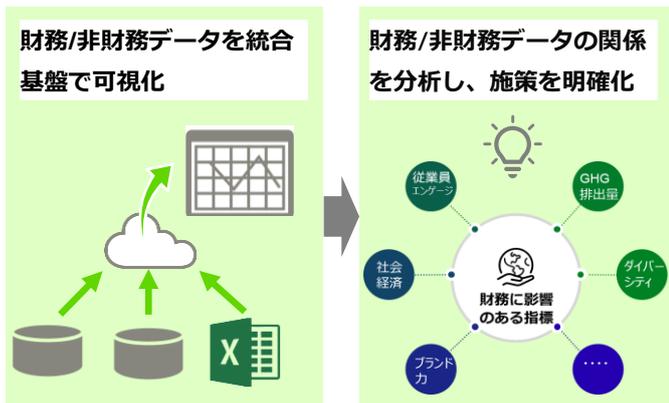
財務・非財務データの関係性の把握

- 富士通独自の技術で財務・非財務データを統合的に分析し、両者の関係性を明らかにします。
- 弊社社内実践で得たノウハウを生かし、お客様のESG経営を支援します。

提供サービス例

財務・非財務ダッシュボード/分析

サービスの特徴



- 財務/非財務データを統合基盤で収集・加工・分析し可視化します。
- 非財務と財務指標の関係性を遅延浸透効果も含め可視化し、財務へ影響の大きい非財務指標を特定します。
- 非財務指標の詳細な傾向、ホットスポットを把握し、取り組むべきことを明らかにすることが可能です。

ご利用が想定されるお客様

- 業種：全業種
- 部門：経営、サステナ部門

お問い合わせ先

富士通株式会社

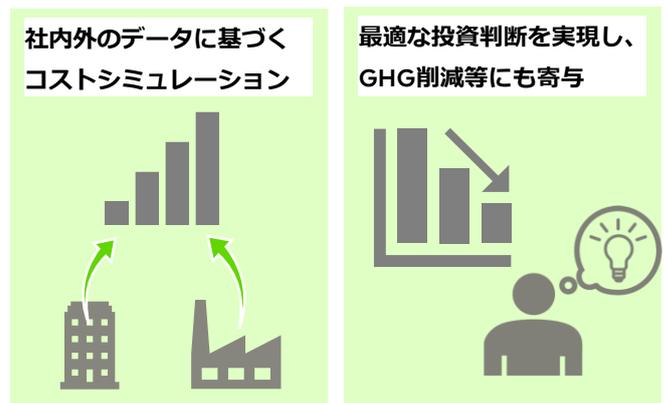
富士通コンタクトライン（総合窓口）0120-933-200

受付時間：9:00～12:00および13:00～17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

[お問合せフォーム](#)

投資判断シミュレーション

サービスの特徴



- 社内外の収集したデータによる投資判断シミュレーションにより、経営層の判断をサポートし、GHG削減にも貢献します。
- 環境貢献部品、サプライヤーのGHG排出量、コスト等のシミュレーションにより最適なサプライヤーを選定し、ESG経営を支援します。

ご利用が想定されるお客様

- 業種：製造業業界
- 部門：環境、サステナ、SCM部門

